

ま え が き



毎年2回にわたり、県政の主要施策と県財政の現状について公表し、県民の皆様にご理解をいただいておりますが、今回は、令和元年度上半期における財政の状況と平成30年度の決算状況について、そのあらましをご説明申し上げます。

本年度当初予算は、東京オリンピック・パラリンピックやその後の新幹線県内全線開業を見据えた石川の個性の磨き上げと交流基盤を活用した交流の拡大、将来にわたり本県経済を支える強い産業づくり、県政の基本である県民生活の安全・安心のさらなる確保に重点を置いて編成しました。

さらに、9月補正予算では、CSF（豚コレラ）の緊急総合対策の実施のほか、国の防災・減災、国土強靱化の緊急対策を受けた治水対策やため池の廃止、石川県金沢中央観光情報センター（仮称）の整備、首都圏アンテナショップの情報発信拠点としての機能強化など、当初予算編成以降の情勢の変化や事業の進捗等を踏まえ、新たな対応が必要となった施策について予算編成を行いました。

平成30年度の一般会計の決算につきましては、社会保障関係経費など義務的経費の増加などにより厳しい財政運営が続いているところですが、職員数削減をはじめ、歳入・歳出あらゆる面で行財政改革に積極的に取り組んできた結果、平成24年度以降7年連続で、基金を取り崩すことなく収支均衡を達成できました。今後も県政の重要課題に積極的に取り組んでいくためには、持続可能な行財政基盤を確立することが不可欠であり、引き続き行財政改革に取り組んでまいります。

皆様の忌憚のないご意見と一層のご協力をお願い申し上げます。

令和元年 12月1日

石川県知事 谷本正憲

も く じ

第1 令和元年度上半期の財政状況	2
Ⅰ 補正予算のポイントは何ですか。	2
Ⅱ どのような事業が盛り込まれているのですか。	2
Ⅲ 予算額はいくらですか。	4
第2 平成30年度決算の状況	8
Ⅰ 平成30年度の決算は総じてどうでしたか。	8
Ⅱ 歳入、歳出それぞれについて詳しく教えてください。	10
Ⅲ 特別会計、事業会計の決算はどうですか。	15
Ⅳ 財政健全化に関する指標はどうなっていますか。	17
第3 企業会計的手法を用いた財政状況の分析について(本県の財務諸表)	21
Ⅰ 作成した目的は何ですか。	21
Ⅱ 行政コスト計算書から何がわかるのですか。	22
Ⅲ 貸借対照表から何がわかるのですか。	24
Ⅳ 純資産変動計算書から何がわかるのですか。	26
Ⅴ 資金収支計算書から何がわかるのですか。	27
資料編	29